

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## “子どもたちは名護市の未来の宝物”



街頭で訴える  
稲嶺ススム市長



稲嶺ススム市長は20日早朝、名護市内で街頭から「子どもたちは名護市の未来の宝物。新基地建設問題に決着をつけ、地域循環型の経済をつくりまします」と訴えました(写真)。

名護市長選で相手候補はメディアなどからの公開討論会の要請に「多忙」を理由に拒み続け、新基地建設問題隠しを続けていきましたが、「再編交付金」の受け取りを明言。同交付金は新基地づくりに協力することが条件なのでいよいよ、「新基地建設問題」が最大の争点に浮上しています。安倍政権丸抱えの相手候補は権力、企業ぐるみ、金権、デマ宣伝などあらゆる手段で稲嶺市政の転覆を狙っています。宣伝、対話活動で相手を上回る勢いで圧倒することが必要です。23日の決起集会を5千人規模で大成功させましよう。

新基地建設をストップさせ、地域循環型経済を  
新基地問題が最大の争点に浮上



### 全国革新懇が 名護で交流会

全国革新懇19日、名護市内で「名護市長選勝利 現地革新懇交流のつどい」を開催(写真右)。沖縄、千葉、大阪、京都、愛知などのほか全労連、全商連、平和委員会など70人余が参加し、市長選必勝を誓い合いました。赤嶺衆院議員、仲里前衆院議員が連帯挨拶しました。

### 「現場は衝撃的だ！」本土の支援者が海上から抗議



名護市長選で本土からの支援者が16日午前、平和丸に乗船し砕石を運搬船から降ろしている工事現場で抗議行動を展開。群馬県商連の大野豊文会長は、「百聞は一見にしかず。強権的に工事を進めている現場は衝撃的だ。稲嶺ススムさんを絶対に勝利させ、新基地建設を阻止したい」と話していました。



### 赤嶺議員と

未来を語るつどい  
名護民商は15日、赤嶺政賢衆院議員と「名護と日本の未来を語るつどい」を30人の参加で開催。名護市長選の意義や情勢報告を受け、子どもたちの未来のためにも市長選を奮闘する決意を固めました。



## “沖縄の痛みは 日本の痛み 私の痛み”



### 高崎で沖縄連帯集会

群馬・高崎市で14日、「沖縄連帯のつどい」が高崎9条ネットなどの主催で開かれ、350人が参加しました。群馬から辺野古へ座り込みを駆けつけている山口富雄氏の講演と映画「1坪たりとも渡すまい」を上映。稲嶺ススム名護市長からのメッセージが紹介されました。主催団体の一つ「じょうしゅう・うちなー・ユイマールの会」では「沖縄の痛みは 日本の痛み 私の痛み」と書かれた「怒れるシーサーの涙」のポスターを普及しています。しんぶん「赤旗」に紹介されたことから全国から注文が殺到、すでに700枚発送されています。申し込みは、小笠原さんへ  
(FAX)027-347-118  
83 頒価カンパ込500円)

